

## 令和5年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

<b>団体名</b> 横浜市金沢区 金沢土木事務所	<b>団体区分</b> (混成の場合は複数☑) <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等															
<b>取組名</b> 区民まつりをきっかけとした広報																
<b>責任者</b> (実際に広報に取り組んだチームの代表者)  氏 名 : 神野菜緒、西水雄史、黒羽根能生 所 属 : 横浜市金沢区 金沢土木事務所 電 話 : 045-781-2511 E-mail : <a href="mailto:na00-kamino@city.yokohama.jp">na00-kamino@city.yokohama.jp</a> (神野) <a href="mailto:yo00-kurobane@city.yokohama.jp">yo00-kurobane@city.yokohama.jp</a> (黒羽根)																
<b>担当チームの構成</b> (外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい)																
<b>取組のポイント</b> (一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい) 区民まつりをきっかけとして、「働く車の乗車体験」「下水道再整備工事模型」「輪投げ」などを出展、缶バッジを職員が作成し配布するなど、下水道事業、土木事務所の業務について広報した。																
<b>アピールポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く車の乗車体験、輪投げなどの出展において、職員自らが製作、操作した。</li> <li>・下水道再整備工事模型、キャラクター等により、下水道事業の広報を行った。</li> <li>・下水道事業関連の配布物品とあわせて缶バッジを職員自らが制作し、配布した。</li> <li>・横浜建設業協会金沢区会、公園ボランティア会との連携。</li> <li>・工事看板作成など、広報、人材確保、人材育成の観点を区民まつりの出展に取り入れた。</li> </ul>																
<b>要したコスト</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">・高所作業車リース料</td> <td style="width: 15%;">約5万円</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>・高所作業車乗降階段などの材料費</td> <td>約1万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・缶バッジ作成材料費</td> <td>約3万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ポロシャツ作成費</td> <td>約7万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・工事看板作成費</td> <td>約4万円</td> <td>合計 約20万円</td> </tr> </table>		・高所作業車リース料	約5万円		・高所作業車乗降階段などの材料費	約1万円		・缶バッジ作成材料費	約3万円		・ポロシャツ作成費	約7万円		・工事看板作成費	約4万円	合計 約20万円
・高所作業車リース料	約5万円															
・高所作業車乗降階段などの材料費	約1万円															
・缶バッジ作成材料費	約3万円															
・ポロシャツ作成費	約7万円															
・工事看板作成費	約4万円	合計 約20万円														

取組の概要（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）



平成20年（2008年）より出展



働く車（高所作業車）乗車体験



道路パトロール車展示



輪投げ



下水道再整備工事模型



キャラクター



配布物品  
缶バッチ



ポロシャツ



工事看板

成果（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

- ・働く車乗車体験（高所作業車）に約800名、ブース来展者1000人以上など、多くの区民に広報することができた。
- ・職員自らが展示物の製作、展示車両の操作、配布物品（缶バッチ）の製作にあたり手作り感満載の雰囲気が醸成された。
- ・下水道再整備工事模型により、下水道管きよの再整備工事（開削工法、更生工法）について、再整備工事パンフレットとともに説明し、多くの区民に広報することができた。
- ・区民まつりをきっかけとして、下水道事業、土木事務所の業務についての広報を多くの区民に効果的に広報することができた。
- ・横浜建設業協会金沢区会、公園ボランティア会等のステークホルダーとの連携が図られた。
- ・ポロシャツ作成、着用による職員の一体感が醸成されるなど、広報する側の職員の広報へのモチベーションの向上につながった。
- ・工事看板製作等の取組を含め、明日の担い手の確保「人材確保」の取組を進めることができた。
- ・下水道を好きになってくれる、愛してくれる事務官、区民、ファンを増やす取組を進めるなど、人材育成の面でも多大な効果期待される。